

「親子盆おどり大会」

沼口 奨太 (ぬまぐち しょうた) 6歳 認定こども園あさひ幼稚園
(宮崎教区)

●表紙のことば●



浴衣を着て、親子で手を繋いで踊った盆おどり大会の様子が、まるで今まさに目で行われているかのように描かれています。真ん中の大きな槽の上ではお父さんたちが手にバチを持ち和太鼓を叩いています。踊っているのは、お母さん、お父さん、お友だちと自分です。表情も豊かで、楽しそうです。夕方に始まった大会も気づけば暗い夜になり空にはお星様が輝いています。そんな経験を見事に描き出しています。

奨太君は、まずはクレヨンで、「ちようちは何色だったかな?」「夜になって星が出たよ」とお友だちとお話をしながら描いていきました。ちようちんからは明るいブルーという記憶から、絵の具で明るいブルーを塗り、ちようちんより上は夜空の色として黒色を塗っていききました。その境目がにじんでしまわないように、丁寧な筆を使っていたそうです。この絵からは太鼓の音や、家族やお友だちと触れあう温かな声が聞こえてきます。

おお はし いさお
大橋 功

岡山大学大学院
教育学研究科